

参考資料

- ❖ 令和5年度地域包括支援センター業務自己評価
(参考資料1) P. 1～6
- ❖ 指定介護予防支援業務等の委託状況及び介護予防給付サービス等事業所
利用状況 (参考資料2) P. 7～11
- ❖ 地域密着型施設の入所状況 (参考資料3) P. 12
- ❖ 各地域包括支援センター令和5年度事業報告 別冊

令和5年度地域包括支援センター業務自己評価

参考資料 1

【1. 全体運営方針に係る評価】

区分	評価項目	江別第一地域包括支援センター		江別第二地域包括支援センター		野幌第一地域包括支援センター		大麻第一地域包括支援センター	
		評価	評価根拠・取組状況	評価	評価根拠・取組状況	評価	評価根拠・取組状況	評価	評価根拠・取組状況
関係機関との連携	市と共同で開催する全体会、管理者会議、三職種部会などの会議において、主体的・積極的に情報提供及び提言を行っている。	5	各種会議や三職種部会において、方向性について提言を行った。また、新制度に必要な確認事項や書式作成を中心となり行い、積極的に役割を担うことができた。	5	各種会議や三職種部会において、方	4	全体会、管理者会議で圏域の情報提供や課題を報告している。三職種部会では、保健師部会で部会長を担うなど役割を果たしている。	5	各種会議に参加し、積極的に圏域内の情報提供や提言を行っている。社金福祉部会の部会長を務め、関係機関との連携において主体的な役割を果たした。
関係機関との連携	地縁組織や関係機関の会議等に積極的に参加し、多様な主体とのネットワークを構築している。	5	協議会や各種会合に参加し、センターの役割を説明したことで、民生委員との連携率が前年度より向上した。また、講話等で障がい福祉分野とのネットワークを構築できた。	5	地縁組織の会議に参加し、情報交換をする機会を持つことができた。また、個別ケース対応等とおして、多様な関係者とのネットワーク構築を行った。	4	関係機関の会議への参加や生活支援体制整備事業を通じ、自治会、住民団体等地縁組織との関係構築に向けた取り組みを行った。	4	自治会や民生委員との会議の参加や高齢者クラブへの訪問で講話の機会を持ち、地域との関係づくり、ネットワーク構築を行った。
公正性・中立性の確保	居宅サービス事業所及び居宅介護支援事業所の紹介等にあたって、公正・中立を厳正に保っている。	4	全市レベルでのケアマネジャー不足により紹介が難しい状況で、市外にも目を向けて紹介を行った。また、福祉用具事業者については偏りが低減し、公平性が確保された。	4	居宅サービス事業所及び居宅介護支援事業所の紹介は、事業所の情報を提供の上、利用者の意向確認を行い、公正・中立の立場で業務を行った。	3	利用者の状況、意向に合わせて有効と思われる事業所を複数紹介し選択していただいた。	4	利用者や家族の状況、意向を伺い、居宅介護支援事業所への依頼は職員間で空き状況を共有し、紹介先が偏らないように努めた。
認知度の向上	高齢者、地域住民及び多様な主体における地域包括支援センターの認知度を向上させている。	3	アンケートは実施していないが、自治会や高齢者クラブの集まりに参加し、終了後に個別相談に対応する時間を設け、そこから支援や介入につながる機会が増加した。	4	地縁組織や通いの場で包括支援センターの周知活動を行ったほか、ポスターの配付を新たにを行った。総合相談受理件数が前年より増加し、認知度が向上している。	4	新規の取り組みとして、包括のポスターの配付を行った。また、出前講座の回数や相談件数の増加から認知度の向上がうかがえた。	4	圏域内の各種金融機関にポスター掲示依頼を行ったり、出前講座等の際に、包括支援センターの周知を行い、認知度向上に努めた。
運営体制の整備及び機能の強化	江別市地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を順守している。	4	三職種配置は人員交代もなく安定した配置で基連通りに運営できた。予防ケア作成件数も三職種の年間作成件数が29名／月と、上限を超えずに遵守できた。	4	職員体制の変更に伴い、市の助言を受けながら、業務付けられている三職種の人員配置を順守している。三職種のプラン件数の上限を順守した。	4	三職種の人員配置の規定を遵守している。件数管理を行い、担当ケースの上限を遵守した。	5	三職種の人員配置は規定を順守している。プラン件数に関しては毎月上限を超えないように調整し、順守している。

区分	評価項目	江別第一地域包括支援センター		江別第二地域包括支援センター		野幌第一地域包括支援センター		大麻第一地域包括支援センター	
		評価	評価根拠・取組状況	評価	評価根拠・取組状況	評価	評価根拠・取組状況	評価	評価根拠・取組状況
運営体制の整備及び機能の強化	配置された三職種が個々の専門性を生かし、センター内外の専門他職種と連携及び情報共有を図る体制を整備している。	4	センター内での毎日のミーティングの他、定期的に三職種間で今後の方向性や運営状況を確認した。外部研修に可能な限り参加し、内部での事例検討会も実施した。	4	研修に積極的に参加し、内部伝達研修を行い職員の資質向上に努めた。専門他職種との連携及び情報共有に関して、通常業務を行う中でネットワーク強化を図った。	4	外部研修や会議等前年と同様に参加している。研修内容はセンター内で報告し合い、情報共有している。	4	三職種が専門性を生かせる研修会に前年より参加し、研修内容をセンター内で共有している。専門他職種とは会議等で情報共有や業務での連携を図った。
運営体制の整備及び機能の強化	緊急時連絡網や危機管理マニュアル等の策定、情報管理の徹底などの体制を構築し、適正に運用している。	5	年度内にBCP(災害・感染症)・避難確保計画・ハラスメント対応マニュアルを整備し運用を開始。情報管理については、取扱いが適切か定期・継続的に確認している。	4	緊急時、災害時に関する管理体制に関して、定期的に運用の見直しを図った。PCIには、職員IDやパスワードを設け、書類等は施錠できる書庫で管理している。	4	連絡網、BCP作成、個人情報保護の研修会を実施。PCIは職員IDやパスワードを設定し、書類は施錠できる書庫に保管している。	4	事業所内の業務規定を見直し、災害対策や感染症予防マニュアル、緊急連絡網等を整備した。個人情報情報は鍵付き書庫へ、PCIはIDとパスワード設定し、厳重管理している。
PDCAによる機能強化	運営状況の検証を常時行うとともに、外部機関の評価や意見を踏まえ、PDCAサイクルによる改善や機能強化を行っている。	4	第三者委員会の設置は行っていないが、月1回の法人事務局会議内にて運営状況の報告や改善策について検討しながら運営。新たな課題発生時には適宜、迅速に検討。	4	運営方針に基づいて、業務自己評価を行っている。市及び法人本部に運営状況の報告を適宜行い、助言を得ながら、改善等を行っている。	3	事業計画を作成し、中間評価、最終評価を行っている。その結果を次の年度の事業計画に反映している。	3	運営法人の会議や本部へ定期的に運営状況を報告し、業務課題の改善方法を相談して適宜見直しを図っている。包括内でも自己評価を行い、必要な見直しを行った。
各種感染症への対応	高齢者に対して相談や支援を担う機関として、感染症対策を徹底した上で各種事業に取り組んでいる。	4	新型コロナウイルス感染症の第5類移行後も、継続して感染症対策に取り組みながら相談対応や事業を実施しており、事業所内でもまん延することなく対応できた。	4	感染症対策を徹底し、関係機関と連携を図り各種事業の継続に努めた。職員の健康管理を実施し、事業所内の感染対策を徹底した。	4	感染症対策を徹底した上で、相談・各種事業を実施している。事業所内における感染対策を現在も徹底している。	4	5類感染症移行後も引き続き、事業所の環境面、訪問や会議の場でのマスク着用や消毒等、基本的な感染対策は継続している。

【2. 個別取組方針に係る評価】

区分	評価項目	江別第一地域包括支援センター		江別第二地域包括支援センター		野幌第一地域包括支援センター		大麻第一地域包括支援センター	
		評価	評価根拠・取組状況	評価	評価根拠・取組状況	評価	評価根拠・取組状況	評価	評価根拠・取組状況
総合相談	総合相談窓口としての機能を適正に発揮するとともに、苦情・要望等に対して真摯に対応し、解決まで責任を持って対応している。	5	連絡ノートを活用しての情報共有を実施。新たな取組として、自費サービスの一覧を主たる相談対応場所に置き、相談対応の工夫をした。苦情に関しては管理者を中心に対応。	3	新しい取組は行っていないが、相談内容に関して三職種が連携し、適切な対応を行うよう努めた。苦情対応は、組織内の体制を確立し連携を図り、適切な対応を行った。	4	土曜日終日営業、休日・夜間の電話対応等、相談しやすい体制整備に取り組んでいる。苦情受付担当を配置している。	4	三職種が連携して相談内容に応じて対応している。地域の社会資源の最新情報を収集し、相談時に提供している。苦情等の相談は管理者を責任者とし、対応している。
権利擁護	高齢者虐待などの権利侵害の未然防止・早期対応に取り組む、関係機関等と連携して事態の解決に結びつけている。	4	高齢者虐待疑いの通報時、早期に事実確認を行い市担当係に報告。受付票を提出し迅速に協議した。市役所だけでなく警察とも連携を図り対応方法を検討した。	3	市に報告・相談の上、連携を図り、事実確認の訪問など早期対応に努めた。虐待の疑いも含め、関係機関と情報共有し、事態の早期解決に向けて支援した。	4	高齢者虐待の早期解決に向けて、市と協議し、医療機関との連携、養護者支援を行い、早期解決を図った。	4	講話等で虐待についての説明や対応策を伝えている。虐待やその疑いがある相談には、三職種を中心に迅速に対応し、市や関係機関と連携し、解決に向けて取り組んだ。
権利擁護	江別市成年後見支援センターを始めとした権利擁護に関する支援機関や専門職等との連携体制を構築し、権利擁護を推進している。	4	江別市成年後見支援センターの活動状況等に関し、意見交換会を行い、互いの状況把握に努めた。個別対応でも、同行訪問し役割分担を行う機会や回数が増えた。	3	江別市成年後見支援センターとの連携や情報交換に努め、対象者への情報提供や支援機関と連携し、適切な支援につなげる事ができた。	5	成年後見、経済的な課題等を抱えるケースに対し、関係機関と連携し解決に向けて取組を行っている。今年度は障害福祉分野との連携強化に向けた取組を行った。	4	総合相談や出前講話時に制度の説明や成年後見支援センターの紹介を行った。制度をより理解するための研修会に参加し、1日頃から各関係機関との連携に努めた。
介護支援専門員に 対する支 援・指導	介護支援専門員のニーズに基づいた対応力向上や医療・介護連携を支援するとともに、自立支援の共有及び浸透を図る支援をしている。	4	居宅介護支援専門員からの相談を受け、地域組織との連携しや代理での連絡をする等の支援をした。江別市が目指す自立支援についての周知活動に取り組んだ。	4	介護支援相談員のニーズに基づいた支援を行うとともに、自立に資するケアマネジメントが行えるよう自立支援の共有を図った。	4	介護支援専門員のニーズに基づきケースへの支援を行った。自立支援の共有や浸透を図るため研修会や事例検討会を企画した。	4	介護支援専門員から支援困難ケースの相談を受けた際は、同行訪問や関係機関との連携を行った。主任CM部会では自立支援の言語化の活用、浸透に向けて取り組んだ。
介護予防、 ケアマネ ジメント	高齢者の課題の把握・分析や目標設定を適切に行うとともに、インフォーマルな支援も活用した総合的なマネジメントを行っている。	4	全プランに期間を定めて目標設定を行った。インフォーマルサービスは紹介しやすいように情報収集し、まとめている。全職員が地域の情勢やサービスにアプデを張り共有している。	4	利用者のニーズや強みを意識し、期間を定めた目標を設定している。インフォーマルな資源の情報を伝え、取り入れながら支援している。	4	全てのケースに期間を定めた目標設定を行っている。インフォーマルな支援もケアマネジメントに取り入れられている。	5	全プランに適正な期間を定めた目標を設定している。地域の通いの場やサークル等への社会参加を意識した支援提案、プラン作成に取り組んだ。
介護予防 事業	地域組織との連携等により介護予防講座の参加者を増加させるなど、介護予防及びフレイル予防に関する正しい理解の普及啓発を促進している。	4	活動再開した団体から出前講話の依頼があり、参加者数が増加した。自治会等に対して、講師派遣型介護予防教室の開催に向けて、連携等を図った。	3	活動再開した団体へ働きかけ介護予防教室の参加者数を増加させた。また、フレイル予防の普及啓発を続けたことで、通いの場での体験の実施につながった。	3	介護予防講座の周知方法を工夫したが、受講者数の増加にはつながらなかった。フレイル予防の普及に向けて、出前講話やフレイルチェックを昨年以上に実施している。	3	新規の取組には至っていないがリーフレットを活用しての講話やフレイルチェックを実施した。フレイル予防の普及啓発を継続し、介護予防講座の参加人数は増加した。

区分	評価項目	江別第一地域包括支援センター		江別第二地域包括支援センター		野幌第一地域包括支援センター		大麻第一地域包括支援センター	
		評価	評価根拠・取組状況	評価	評価根拠・取組状況	評価	評価根拠・取組状況	評価	評価根拠・取組状況
介護予防事業	介護予防サポーターの活用やリハビリティーション専門職との連携により、地域における社会参加と介護予防・健康づくりの機会を拡大させている。	5 既存の通いの場に、専門職派遣事業を活用して、リハビリ職と連携をとり体力測定を実施。介護予防サポーターと協力し、講座で社会参加の重要性を伝え、参加者も増加した。		4 元氣アップサポーターと連携し、新規の講話やリハ職派遣を実施し、健康づくりの機会を拡大を図った。口腔機能の専門職派遣につなげるための講話を実施している。		4 介護予防サポーターが介護予防教室や通いの場で口腔機能の向上を普及啓発できるよう後方支援を行った。通いの場や体力測定等活動の機会につなげた。	3 地域の通いの場での専門職派遣を複数回実施し、介護予防と健康づくりに向けた活動を拡大し、充実させてきた。		
医療介護連携	江別市医療介護連携推進協議会の取組に積極的に参画するなど、医療と介護の連携構築に主体的な役割を果たしている。	3 医療介護連携推進協議会の取組に協力できる情報や役割を担える機会はない。主体的には行っていない。日常業務の中で、医療機関担当者との情報は密に行っている。		4 お薬手帳連携シートへ介護情報を記載し、入退院時の情報共有の他、未受診者へ同意を得て、疾患に応じた情報提供を医療機関に行い、心身状態を情報共有した。		3 協議会は開催されなかったが、お薬手帳連携シートの活用を継続し、医療介護連携につながるよう江別市立病院経営強化プランへの提言を行った。	3 新たな取組は行えていないが、日頃の業務で医療機関がイドブック等を活用している。病院からの相談も多く、利用者の入退院時には病院との連携を密に行った。		
生活支援体制整備	地域における多様な主体との連携や地域住民の互助による助け合い活動を推進し、地域全体で高齢者の生活を支える体制づくりを行っている。	3 地域フォーラム、支え合い出前講座を各3回開催した。実施した自治会役員とは、現状及び課題の確認を行い、自助・互助への意識の醸成に向けて意見交換を実施した。		3 自治会等に対し自助・互助の考え方を周知し、孤立者減少への取組を図った。民生委員等をおし、見守り活動のあり方や、地域での支え合いについて検討した。		5 地域活動・つながりを保てるよう通いの場交流会、第2層生活支援体制整備協議体、地域フォーラムを開催し、地域の見守り体制・通いの場の再開を図ることができた。	3 地域フォーラム、支え合い講話を複数回実施し、自助互助の取組を伝える機会を持った。また、地域団体と意見交換をし、新たな取組について検討を行った。		
認知症に関する総合支援	認知症サポーター養成講座等による普及啓発に取り組むとともに、認知症地域支援推進員等と連携して地域の支援体制整備に取り組んでいる。	3 認知症サポーター養成講座を小学校で開講。ステップアップ講座の企画委員も担った。市民向け認知症サポーター養成講座の会場設置も実施した。		4 認知症サポーター養成講座の講師や実行委員を担い普及に取り組んだ。民生委員や医療機関と連携し、支援体制の整備を図った。		3 積極的な周知により、サポーター養成講座を2か所で開催。通いの場交流会で認知機能が低下しても参加し続けられる通いの場について認知症地域支援推進員が講話を行った。	4 認知症サポーター養成講座にて講師を2回務め、普及啓発に取り組んだ。認知症地域支援推進員との情報交換、連携を図り、支援体制整備に努めた。		
認知症に関する総合支援	認知症初期集中支援チーム及び医療機関と連携し、認知症の早期発見・早期対応に積極的に取り組んでいる。	4 認知症地域支援推進員との情報交換を行いながら、介入依頼やケース同行訪問・チーム員会議にも参加。終了ケースについても、経過の情報提供を行うことができた。		4 認知症初期集中支援チームにつながらなかったが、認知症地域支援推進員と連携し、認知症の症状のある地域住民についての情報を共有した。		3 認知症に関わる医療機関との連携や認知症地域支援推進員を含めた地域ケア会議・ケース会議にて早期対応及びネットワークづくりに取り組んだ。	3 認知症初期集中支援チームへの事例提供には至らなかったが、支援困難ケースの同行訪問やケース会議の参加をとおして認知症地域支援推進員と連携し対応した。		
地域ケア会議	センターが主催する医療機関、専門職、親族や住民等による地域ケア会議を通じて、高齢者を支援する体制づくりを行っている。	4 地域ケア会議開催は前年度より減少したが、複數課題を扱うケースの支援時に関係機関と連携し、同行訪問等を行った。センターの対応能力が向上した結果と評価。		4 地域ケア会議を通じて関係機関と連携し、問題解決に至った。通常業務の中で病院・社協・行政と継続的な連携体制を構築している。		4 地域ケア会議等を通じて、これまでの関係機関に加え、今年度は住宅処分・ゴミ処分・行政書士等に関わる機関とも連携し支援体制を構築し、継続的な連携体制を構築した。	4 多問題を抱えるケースについて地域ケア会議を複数回実施した。関係者間での連携強化や課題解決に向けての役割分担を含め、ケースに対する支援体制を構築した。		

区分	評価項目	江別第一地域包括支援センター		江別第二地域包括支援センター		野幌第一地域包括支援センター		大麻第一地域包括支援センター	
		評価	評価根拠・取組状況	評価	評価根拠・取組状況	評価	評価根拠・取組状況	評価	評価根拠・取組状況
地域ケア会議	市が主催する自立支援型地域ケア会議に積極的に事例提供を行い、自立に向けた支援を実践している。	4	事例は滞りなく提供。居宅介護支援事業所の事例提供者にもICFの考えをアドバイスした。評価も実施し、自センター提供外も会議見学を行い圏域外の状況を確認した。	4	自立支援型地域ケア会議に、毎月積極的に参加し、指定月に事例を提供している。会議後は助言を基にした支援を実践し、結果をモニタリングしている。	4	自立支援型地域ケア会議に事例提供し、会議で提案された方策を実践し、結果をモニタリングしている。	5	自立支援型地域ケア会議に積極的に参加し、新規、フォローアップの事例提供を行った。会議での助言をもとに支援を実践し、モニタリングを行った。
地域ケア会議	地域ケア会議等を通じて抽出・把握した地域課題を、生活支援体制整備事業と連携して課題解決に向けた提言や取組を行っている。	3	日常生活支援コーディネーターとの打ち合わせの場で提言した。地域ケア会議開催回数は少ないが課題は抽出し把握している。	3	転入・呼び寄せ高齢者が多く、地域活動につながりにくい点が地域課題であることをSC間で共有し、転入者への情報提供のための文書を作成・送付している。	4	地域ケア会議やSCによる地域づくり会議を実施し、地域課題を抽出し、まとめている。第1層SCとの連携による取組やSCの集まりにて提言している。	3	地域ケア会議等を通じて把握した地域課題をSCの集まりで提言している。SCの集まりにて社会資源の情報提供を行い、便利帳の作成に取り組んだ。

【3. 独自項目】

項目	江別第一地域包括支援センター	江別第二地域包括支援センター	野幌第一地域包括支援センター	大麻第一地域包括支援センター
(1) 独自に取り組んでいること、特に重要視して取り組んでいることなど、記入する。	・新規相談やセンター職員全体で対応を要する事など、毎日全職員で情報を共有しながら確認と検討をする機会を設けている。 ・担当圏域の民生委員との密な連携を旨とし、地域包括支援センターの役割や詳細な活動実績・目標を説明・提示を行っている。 ・センター独自のリーフレットや出前講話プログラムも準備し配付することで、各関係団体との良好な関係性の構築や協働機会が増えるように工夫している。	地域組織のリーダーと意見交換を行い、地域課題の情報共有を図っている。 また、個別相談業務をとおして、多職種・他機関との連携し、高齢者を支援する体制づくりに向けて、ネットワーク強化を図っている。	①地域活動の再開に向けた支援 ②障がい福祉サービスから介護保険サービスへ移行する利用者の権利擁護の連携強化	①センター主催の通いの場にて元氣アップ体操、E-リズム体操を実施する取組を行っている。 ②センター3職種でのミーティングを定期的に開催し、支援困難ケースの対応を検討したり、地域活動などの計画を立案、実践している。 ③全職員で毎週新規相談や業務改善について話し合う機会を設けている。
(2) (1)により得られた効果など、取組の評価を記入する。	・22名の民生委員から延べ39件の相談を受けた。例年相談をしてくださる民生委員は17～18名程度であることから、活動実績・目標の説明と提示の成果であると考ええる。 ・出前講話を繰り返す中で、各種サークルや自治会の未来を一緒に考える地域フォーラムに発展した団体が複数あり、住民組織と協働して地域づくりを考える基盤を造っていると評価している。	地域の支援対象者の情報提供が増えており、状況確認等の積極的な協力を得られている。 複雑な課題を抱えている事例が多く、解決のために、当事者を含め、行政、医療、障がい、介護等の多様な関係機関との、意見交換や情報共有をとおし、ネットワークの強化を図ることができた。	①通いの場交流会、第2層生活支援体制整備協議体、地域フォーラムを開催した。サロンの継続・再開につながった。また、住民を孤立させないための方法を検討し地域のつながり・支え合いづくりにつながった。 ②障がいの相談支援事業所や自立支援協議会へ積極的に出向き、顔の見える関係を構築し、制度の理解促進や連携強化を図ることができた。相談支援事業所からの相談件数も増加し、連携体制につながった。	①介護予防として地域の方々に運動や社会交流の機会が持てる活動の場を提供できた。 ②個別のケースや地域活動に対して情報を整理し、役割分担などを行い、スムーズな対応や活動ができるように体制を整えている。 ③職員間で情報が共有できて業務内での対応が統一できた。

指定介護予防支援業務等の委託状況

【 令和5年度介護予防支援及び介護予防ケアマネジメントA委託先事業所及び件数 】

※件数は令和4年度における総件数

江別第一地域包括支援センター

順	居宅介護支援事業所名称	件数	(%)	件数が最も多い事業所の選択理由
1	わかくさ指定居宅介護支援事業所	74	25.4	同一建物内の事業所であり、連携がスムーズかつ迅速に対応してくれ、利用者についての情報共有が行いやすいため。
2	のぞみ指定居宅介護支援事業所	52	17.9	
3	ひだまり居宅介護支援事業所	24	8.2	
4	静苑ホーム居宅介護支援事業所 友愛野幌	21	7.2	
5	ケアプランセンター雪の華	18	6.2	
-	その他の事業所	102	35.1	

江別第二地域包括支援センター

順	居宅介護支援事業所名称	件数	(%)	件数が最も多い事業所の選択理由
1	のぞみ指定居宅介護支援事業所	172	43.7	のぞみ指定居宅介護支援事業所は、近隣からの知名度が高く、再委託を積極的に受けていただける事業所である。長期継続利用者が多いこともあげられる。
2	萌えぎ野西ケアプランセンター	69	17.5	
3	はるにれ居宅介護支援事業所	24	6.1	
4	在宅介護相談えべつ英生会ケアプランセンター	23	5.8	
5	ケアプランセンターこはる	20	5.1	
-	その他の事業所	86	21.8	

野幌第一地域包括支援センター

順	居宅介護支援事業所名称	件数	(%)	件数が最も多い事業所の選択理由
1	はるにれ居宅介護支援事業所	98	13.5	居宅介護支援事業所では、よほどの事情がない限り新規の再委託の受け入れは行っていない、今まで受けてくれていたケースが自然に減ってきている状態。 再委託を依頼する場合、事業所を選択して行っている実情ではない。
2	静苑ホーム居宅介護支援事業所 友愛野幌	94	13.0	
3	ニチイケアセンター野幌	81	11.2	
4	在宅介護相談えべつ英生会ケアプランセンター	64	8.8	
5	ひだまり居宅介護支援事業所	57	7.9	
-	その他の事業所	331	45.7	

大麻第一地域包括支援センター

順	居宅介護支援事業所名称	件数	(%)	件数が最も多い事業所の選択理由
1	ケアプランセンターみのり丘	99	18.0	相談時の対応が迅速なため、近くの事業所を希望されることが多い。地域での知名度と事業所の職員人数も多いことから、急な依頼でも受け入れ対応してくれる。また、男女職員が居て利用者や家族からの要望に配慮してくれる。
2	ひだまり居宅介護支援事業所	58	10.5	
3	居宅介護支援事業所季の風	56	10.2	
4	いきいきセンター指定居宅介護支援事業所	45	8.2	
5	はるにれ居宅介護支援事業所	41	7.4	
-	その他の事業所	252	45.7	

介護予防給付サービス等事業所利用状況

【 1 介護予防訪問介護・第1号訪問サービス】

江別第一地域包括支援センター

9月実績

3月実績

順	事業所名称	件数	(%)	順	事業所名称	件数	(%)
1	ヘルパーステーションわかくさ	25	58.1	1	ヘルパーステーションわかくさ	29	69.0
2	ホームヘルプサービス夢ふうせんみどり	4	9.3	2	ホームヘルプサービス夢ふうせんみどり	4	9.5
3	静苑ホームヘルパーステーション友愛野幌	3	7.0	3	ヘルパーステーションおおあさ	2	4.8
4	ヘルパーステーションいきいき	2	4.7	4	いろはケア江別駅前	2	4.8
5	ヘルパーステーションおおあさ	2	4.7	5	誠志苑ヘルパーステーション	1	2.4
-	その他の事業所	7	16.3	-	その他の事業所	4	9.5
件数が最も多い事業所の選択理由				要支援認定者(江別市総合事業)の受入れを積極的に行っており、利用者が 増えている中でも対応可能な日程の情報を提供してくれる。			

江別第二地域包括支援センター

9月実績

3月実績

順	事業所名称	件数	(%)	順	事業所名称	件数	(%)
1	静苑ホームヘルパーステーション友愛野幌	15	24.2	1	静苑ホームヘルパーステーション友愛野幌	14	21.9
2	ヘルパーステーションわかくさ	10	16.1	2	ヘルパーステーション結の譚	12	18.8
3	ヘルパーステーション結の譚	10	16.1	3	ヘルパーステーションわかくさ	11	17.2
4	誠志苑ヘルパーステーション	8	12.9	4	訪問介護事業所花ひかり	9	14.1
5	訪問介護事業所花ひかり	8	12.9	5	誠志苑ヘルパーステーション	6	9.4
-	その他の事業所	11	17.7	-	その他の事業所	12	18.8
件数が最も多い事業所の選択理由				ヘルパーの職員数が多く、曜日や時間等の調整対応の幅が広い為。			

野幌第一地域包括支援センター

9月実績

3月実績

順	事業所名称	件数	(%)	順	事業所名称	件数	(%)
1	静苑ホームヘルパーステーション友愛野幌	41	46.6	1	静苑ホームヘルパーステーション友愛野幌	44	50.0
2	ヘルパーステーションわかくさ	10	11.4	2	ヘルパーステーションおおあさ	8	9.1
3	ヘルパーステーションおおあさ	9	10.2	2	ヘルパーステーションわかくさ	8	9.1
4	ヘルパーステーションいきいき	8	9.1	4	ヘルパーステーションいきいき	7	8.0
5	萌えぎ野西ヘルパーステーション	5	5.7	5	ホームヘルプサービス夢ふうせんみどり	4	4.5
-	その他の事業所	15	17.0	-	その他の事業所	17	19.3
件数が最も多い事業所の選択理由				ヘルパー不足や要支援の認定者を積極的に受け入れていない事情のある中、相 談を断ることなく対応してくれている。			

大麻第一地域包括支援センター

9月実績

3月実績

順	事業所名称	件数	(%)	順	事業所名称	件数	(%)
1	ヘルパーステーションおおあさ	57	53.3	1	ヘルパーステーションおおあさ	65	56.0
2	ヘルパーステーションいきいき	22	20.6	2	ヘルパーステーションいきいき	22	19.0
3	静苑ホームヘルパーステーション友愛野幌	16	15.0	3	静苑ホームヘルパーステーション友愛野幌	15	12.9
4	訪問介護事業所花ひかり	3	2.8	4	訪問介護事業所花ひかり	4	3.4
5	ヘルパーステーションおもてなし江別	3	2.8	5	SOMPOケア札幌青葉訪問介護	3	2.6
-	その他の事業所	6	5.6	-	その他の事業所	7	6.0
件数が最も多い事業所の選択理由				市内事業所の要支援認定者の受け入れが難しい中で、できる限り希望に沿うよう に受け入れの調整をしてくれる。			

【 2 介護予防通所介護・第1号通所サービス】

江別第一地域包括支援センター

9月実績

3月実績

順	事業所名称	件数	(%)	順	事業所名称	件数	(%)
1	機能訓練専門デイサービスきたえる～む江別中央	46	25.4	1	機能訓練専門デイサービスきたえる～む江別中央	57	30.0
2	デイサービスセンターわかくさ	34	18.8	2	リハビリ特化型デイサービス カラダラボ	33	17.4
3	リハビリ特化型デイサービス カラダラボ	32	17.7	3	デイサービスセンターわかくさ	28	14.7
4	デイサービスセンターゆあみ茶屋江別	17	9.4	4	静苑ホームデイサービスセンター友愛野幌	19	10.0
5	静苑ホームデイサービスセンター友愛野幌	15	8.3	5	デイサービスセンターゆあみ茶屋江別	17	8.9
-	その他の事業所	37	20.4	-	その他の事業所	36	18.9
件数が最も多い事業所の選択理由				介護予防訓練プログラムが充実しており、提供時間もニーズに適している。上位事業所は、包括圏域内にあることから、利用者からの希望が多くあり調整を行っている。			

江別第二地域包括支援センター

9月実績

3月実績

順	事業所名称	件数	(%)	順	事業所名称	件数	(%)
1	リハビリ特化型デイサービスカラダラボ	27	21.8	1	リハビリ特化型デイサービスカラダラボ	33	23.7
2	機能訓練専門デイサービス きたえる～む江別中央	14	11.3	2	機能訓練専門デイサービス きたえる～む江別中央	16	11.5
3	静苑ホームデイサービスセンター友愛江別	13	10.5	3	静苑ホームデイサービスセンター友愛江別	15	10.8
4	デイサービスセンターわかくさ	13	10.5	4	デイサービス江別ケアパークそよ風	15	10.8
5	デイサービス江別ケアパークそよ風	12	9.7	5	デイサービスセンターわかくさ	13	9.4
-	その他の事業所	45	36.3	-	その他の事業所	47	33.8
件数が最も多い事業所の選択理由				短時間で運動に特化したデイサービスを希望される方が多く、送迎範囲も広い為。			

野幌第一地域包括支援センター

9月実績

3月実績

順	事業所名称	件数	(%)	順	事業所名称	件数	(%)
1	機能訓練専門デイサービスきたえる～む野幌	112	36.5	1	機能訓練専門デイサービスきたえる～む野幌	123	38.2
2	静苑ホームデイサービスセンター友愛野幌	31	10.1	2	リハビリ特化型デイサービスカラダラボ江別文京台	29	9.0
3	リハビリ特化型デイサービスカラダラボ江別文京台	29	9.4	3	静苑ホームデイサービスセンター友愛野幌	28	8.7
4	デイサービスセンターみのりの丘野幌	24	7.8	4	デイサービスセンターみのりの丘野幌	24	7.5
5	機能訓練専門デイサービスきたえる～む江別中央	18	5.9	5	リハビリ特化型デイサービスカラダラボ	21	6.5
-	その他の事業所	93	30.3	-	その他の事業所	97	30.1
件数が最も多い事業所の選択理由				機能訓練のメニューや機材が充実している事業所を選択されるケースが多い。			

大麻第一地域包括支援センター

9月実績

3月実績

順	事業所名称	件数	(%)	順	事業所名称	件数	(%)
1	機能訓練専門デイサービスきたえる～む野幌	52	25.5	1	機能訓練専門デイサービスきたえる～む野幌	49	25.3
2	リハビリ特化型デイサービスカラダラボ江別文京台	45	22.1	2	リハビリ特化型デイサービスカラダラボ江別文京台	43	22.2
3	デイサービスセンターいきいき	42	20.6	3	デイサービスセンターいきいき	39	20.1
4	デイサービスセンターひだまり	18	8.8	4	デイサービスセンターひだまり	16	8.2
5	デイサービスセンターみのりの丘野幌	10	4.9	5	デイサービスセンターみのりの丘野幌	10	5.2
-	その他の事業所	37	18.1	-	その他の事業所	37	19.1
件数が最も多い事業所の選択理由				短時間での運動を希望される方が非常に多く、運動や介護予防メニューが充実している。			

【 3 介護予防通所リハビリテーション】

江別第一地域包括支援センター

9月実績

3月実績

順	事業所名称	件数	(%)	順	事業所名称	件数	(%)
1	江別谷藤病院通所リハビリテーション	7	35.0	1	江別谷藤病院通所リハビリテーション	10	45.5
2	老健のっぽろ通所リハビリテーション	4	20.0	2	老健のっぽろ通所リハビリテーション	4	18.2
3	介護老人保健施設はるにれ	3	15.0	3	介護老人保健施設はるにれ	3	13.6
4	介護老人保健施設 友愛ナーシングホーム	2	10.0	4	介護老人保健施設 友愛ナーシングホーム	2	9.1
5	介護老人保健施設ゆう	2	10.0	5	介護老人保健施設ゆう	1	4.5
-	その他の事業所	2	10.0	-	その他の事業所	2	9.1
件数が最も多い事業所の選択理由				機能訓練プログラム・サービス提供時間がニーズに適している。また、整形外科に入院し、在宅復帰後も継続してリハビリテーションを行いたいという希望がある。 (主治医の指示を含む)			

江別第二地域包括支援センター

9月実績

3月実績

順	事業所名称	件数	(%)	順	事業所名称	件数	(%)
1	介護老人保健施設ゆう	11	42.3	1	介護老人保健施設ゆう	10	35.7
2	介護老人保健施設はるにれ	6	23.1	2	老健のっぽろ通所リハビリテーション	8	28.6
3	老健のっぽろ通所リハビリテーション	6	23.1	3	介護老人保健施設はるにれ	5	17.9
4	江別谷藤病院通所リハビリテーション	2	7.7	4	江別谷藤病院通所リハビリテーション	2	7.1
5	介護老人保健施設友愛ナーシングホーム	1	3.8	5	通所リハビリテーションスマイル	1	3.6
-	その他の事業所	0	0.0	-	その他の事業所	2	7.1
件数が最も多い事業所の選択理由				運動メニューやレク活動、行事等が充実しており、送迎範囲も広い為。			

野幌第一地域包括支援センター

9月実績

3月実績

順	事業所名称	件数	(%)	順	事業所名称	件数	(%)
1	江別谷藤病院通所リハビリテーション	27	40.3	1	江別谷藤病院通所リハビリテーション	24	36.9
2	介護老人保健施設友愛ナーシングホーム	10	14.9	2	老健のっぽろ通所リハビリテーション	12	18.5
3	老健のっぽろ通所リハビリテーション	9	13.4	3	介護老人保健施設友愛ナーシングホーム	8	12.3
4	介護老人保健施設はるにれ	6	9.0	4	介護老人保健施設はるにれ	7	10.8
5	介護老人保健施設葵の園江別通所リハビリテーション	6	9.0	5	デイケアセンターおおあさ	6	9.2
-	その他の事業所	9	13.4	-	その他の事業所	8	12.3
件数が最も多い事業所の選択理由				専門職による個別の機能訓練を集中的に受けたいという希望が多い。			

大麻第一地域包括支援センター

9月実績

3月実績

順	事業所名称	件数	(%)	順	事業所名称	件数	(%)
1	通所リハビリテーション日本介護江別	20	32.3	1	通所リハビリテーション日本介護江別	29	42.6
2	デイケアセンターおおあさ	16	25.8	2	介護老人保健施設葵の園・江別通所リハビリテーション	13	19.1
3	介護老人保健施設葵の園・江別通所リハビリテーション	12	19.4	2	デイケアセンターおおあさ	13	19.1
4	介護老人保健施設はるにれ	5	8.1	3	介護老人保健施設はるにれ	3	4.4
5	厚別老人保健施設ディ・グリュネン通所リハビリテーション	2	3.2	3	厚別老人保健施設ディ・グリュネン通所リハビリテーション	3	4.4
-	その他の事業所	7	11.3	-	その他の事業所	7	10.3
件数が最も多い事業所の選択理由				短時間で集中的にリハビリを受けたいという希望が多くある。			

【 4 介護予防福祉用具貸与】

江別第一地域包括支援センター

9月実績

3月実績

順	事業所名称	件数	(%)	順	事業所名称	件数	(%)
1	丸東ユニバーサルサービス福祉用具貸与センター	52	28.6	1	丸東ユニバーサルサービス福祉用具貸与センター	40	23.5
2	マルベリーさわやかセンター札幌東	33	18.1	2	ニック株式会社 北海道中央営業所	32	18.8
3	ニック株式会社 北海道中央営業所	31	17.0	3	マルベリーさわやかセンター札幌東	22	12.9
4	福祉用具貸与事業所ネグきしもと	20	11.0	4	福祉用具貸与事業所ネグきしもと	20	11.8
5	ピースケアサポート	10	5.5	5	ピースケアサポート	9	5.3
-	その他の事業所	36	19.8	-	その他の事業所	47	27.6
件数が最も多い事業所の選択理由				地域密着の事業所であり、土曜日も営業しているため、急な依頼に対応してくれる。また、利用者が近くの事業所を希望されることが多く、調整を行っている。			

江別第二地域包括支援センター

9月実績

3月実績

順	事業所名称	件数	(%)	順	事業所名称	件数	(%)
1	丸東ユニバーサルサービス福祉用具貸与センター	41	34.7	1	丸東ユニバーサルサービス福祉用具貸与センター	39	34.8
2	福祉用具貸与事業所ネグきしもと	23	19.5	2	福祉用具貸与事業所ネグきしもと	27	24.1
3	ニック株式会社北海道中央営業所	19	16.1	3	ニック株式会社北海道中央営業所	20	17.9
4	株式会社フロンティア札幌営業所	11	9.3	4	サウレ福祉用具貸与事業所	5	4.5
5	株式会社マルベリーさわやかセンター札幌東	5	4.2	5	株式会社フロンティア札幌営業所	4	3.6
-	その他の事業所	19	16.1	-	その他の事業所	17	15.2
件数が最も多い事業所の選択理由				地元業者であり、地域にも詳しく対応が迅速である。書類等のやり取りもスムーズである。 地域の利用者の認知度、信頼度が高く選択される傾向にある。			

野幌第一地域包括支援センター

9月実績

3月実績

順	事業所名称	件数	(%)	順	事業所名称	件数	(%)
1	福祉用具事業所ゆうあい	111	41.7	1	福祉用具事業所ゆうあい	108	41.9
2	丸東ユニバーサルサービス福祉用具貸与センター	62	23.3	2	丸東ユニバーサルサービス福祉用具貸与センター	53	20.5
3	北海道フォレスト福祉用具貸与・販売事業所	32	12.0	3	北海道フォレスト福祉用具貸与・販売事業所	30	11.6
4	福祉用具貸与事業所ネグきしもと	19	7.1	4	福祉用具貸与事業所ネグきしもと	19	7.4
5	DCM	10	3.8	5	DCM	11	4.3
-	その他の事業所	32	12.0	-	その他の事業所	37	14.3
件数が最も多い事業所の選択理由				相談に対して早急に対応してくれると共に、移動環境の整備や物品の選定など専門的な視点から提案してくれるため。			

大塚第一地域包括支援センター

9月実績

3月実績

順	事業所名称	件数	(%)	順	事業所名称	件数	(%)
1	福祉用具貸与事業所ネグきしもと	69	38.5	1	福祉用具貸与事業所ネグきしもと	62	41.9
2	丸東ユニバーサルサービス福祉用具貸与センター	40	22.3	2	丸東ユニバーサルサービス福祉用具貸与センター	29	19.6
3	マルベリーさわやかセンター札幌東	27	15.1	3	マルベリーさわやかセンター札幌東	20	13.5
4	株式会社フロンティア札幌東営業所	11	6.1	4	株式会社フロンティア札幌東営業所	9	6.1
5	ニック株式会社北海道中央営業所	7	3.9	5	ニック株式会社北海道中央営業所	6	4.1
-	その他の事業所	25	14.0	-	その他の事業所	22	14.9
件数が最も多い事業所の選択理由				長年、地域密着の事業所であり、知名度が高く、職員人数も多いことから対応が迅速。センターにも近く、来所機会も頻回で書類等のやり取りや連携がスムーズである。			

地域密着型施設の入所状況(令和5年度)

参考資料3

■グループホーム

(各月1日現在)

圏域	事業所名称	定員	入居者												
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
江別	グループホームひまわりの郷	18	18	18	18	18	18	18	18	18	17	18	18	17	18
	英生会グループホームゆめみの	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	17	18	17	18
	ニチイケアセンター江別	18	18	18	17	17	18	17	18	18	18	18	18	17	18
	グループホームそるぶす豊幌	18	17	17	18	18	18	18	18	18	18	18	17	18	18
	グループホーム江別ケアパークそよ風	18	17	18	17	18	18	18	18	18	18	16	17	17	18
	グループホーム北海ハウスみずほ館	18	16	16	17	17	17	17	16	15	16	17	17	17	17
	グループホームほのぼのさくら	9	9	9	9	9	9	9	9	9	8	9	8	9	9
	グループホームゆうあい	18	16	17	17	16	17	18	18	18	18	16	15	15	17
	グループホームたんぽぽ江別東光館	18	18	15	16	18	18	17	18	17	17	18	18	18	17
野幌	ふれあいの里グループホーム野幌	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	17	18	17	18
	グループホーム若葉	18	17	17	17	17	17	17	17	15	14	14	14	15	16
	グループホームこもれび	18	18	17	18	17	18	17	18	18	18	17	17	17	18
大麻	グループホームななかまど大麻	9	8	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
	グループホームひだまり	18	18	18	18	18	17	17	18	18	18	18	18	18	18
	グループホームグッドケア・大麻新町	18	18	18	18	18	18	17	17	18	17	17	17	16	17
	グループホーム冬桜	18	18	18	18	18	18	17	18	18	17	18	18	18	18
	グループホームぬくもり	18	18	18	18	18	18	18	17	18	18	18	18	18	18
	グループホームえべつ	18	18	17	15	15	15	16	16	17	16	18	18	18	17
計		306	298	296	296	297	299	296	299	298	293	293	293	291	296

■地域密着型特定施設

野幌	介護付有料老人ホーム蓮音	29	29	28	28	28	29	28	28	28	29	28	29	29	28
----	--------------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

■地域密着型介護老人福祉施設

野幌	地域密着型介護老人福祉施設かつこうの杜	29	27	29	28	28	28	27	28	26	27	26	27	28	27
江別	江別地域複合型ライフケアセンター夢つむぎ	29	29	29	29	29	28	28	29	28	25	26	26	27	28
計		58	56	58	57	57	56	55	57	54	52	52	53	55	55